



みみだより

No.43

鳥取聾学校ひまわり分校

聴能担当

R5.2.17

文責：野口

「補聴援助システム」をご存じですか？ひまわり分校でも、購入を検討するために試聴したことがある人、またこれから試してみたいと思っている人もあるかと思います。

今回は、「補聴援助システム」についてご紹介します。



きこえをたすける 「補聴援助システム」



補聴器や人工内耳は音を大きくして耳に届けてくれますが、周囲の雑音も一緒に大きくしてしまいます。エアコンや家電の音、テレビの音、食事の際の食器の音、隣のクラスの声、机やいすの等様々な背景雑音があふれていると、相手の話したことばをききとりにくくなってしまいます。また、話し手との距離があるほど、“ききたい声”のききとりが難しくなってしまいます。

補聴器、人工内耳で ききとりに困る場面

- ※話している人が離れている時
- ※周りが騒がしい、騒音下でききとれない
- ※反響、残響音でことばがはっきりしない 等

改善

ロジャーの活用場面 ～大切な人とつながる～

- ・家族団らんや食事の場面
- ・屋外遊び、友達との交流
- ・テレビを観る時
- ・音楽をきく時、電話で話す時
- ・学校内での会話、スポーツをする時
- ・広い教室での学習場面
- ・オンライン学習 等

学校の教室



テレビ・ラジオ



送信機をテレビやラジオのスピーカーの前に置くことで、離れた場所からでもボリュームを上げずに楽しむことができます。

岩崎電子補聴器センターHPより

「補聴援助システム」は、送信機（マイク）に入った話し手の声を、受信機をつけた補聴器や人工内耳に直接届けるシステムです。このシステムを使うと、話し手のことばを子どもの耳に直接届けることができます。離れた場所からでも、きこえの妨げになる背景雑音が抑えられたクリアなききとりが可能になります。

実際の購入にあたっては、医師の意見書により、補装具として申請し補助を受けることができます。しかし手帳の有無や等級、課税状況によって交付の可否や自己負担額が変わってきますので、まずはご相談ください。



また、素晴らしい機械ではありますが、万能でも魔法でもありません。音は届くようにはなりますが、「よくきこえる＝会話がすべて理解できるようになる」わけではないのです。優秀な「補聴援助システム」を使っている、**顔を見て話す、はっきりと適度な大きさの声で話す、視覚的にわかる手段を用いる等**のきこえにくいお子さんへの配慮は忘れないでください。

ワンポイント 手話



「飲み物」「おやこ手話じてん」より



資料～ロジャーで大切な人とつながる

家庭は、子どもにとって初めて人間関係を築く場となります。

家庭で形成された親密な関係は生涯続き、

子どもの発達段階でさまざまな成果を達成する上での基盤となります。

子どもが発話や言語を発達させ、効果的なコミュニケーションを取るためには、
音声を聞くことが重要です。

自宅で難聴の子どもが家の中で言葉を聞き取るには難しい場面が多くあります。

特に、テレビや台所、洗濯機の音などの背景雑音があると、

部屋の中の声を聞き取るのは難しくなります。

特に食事の時間は、聞き取りが非常に難しくなる場面です。

人の話し声や背景雑音、食器類がぶつかり合う音などが複雑に重なるため、
次々と交わされる会話についていくのは至難の業です。

テーブルにいる全員の声をはっきりと聞こえることで、

子どもが会話に積極的に加わることができるようになります。

ロジャーの使用シーン

？ 家族団らんやパーティー

？ 屋外で遊ぶ時

？ お友達との交流

？ テレビを観る時

？ 音楽を聴く時

？ 電話で話す時

？ 学校内での会話

？ スポーツをする時

？ オンライン学習

補聴器や人工内耳の限界について

まず補聴器、人工内耳で聞きとりに困る場面があります。

話している人が離れている時

周りが騒がしい、騒音下で聞きとれない

反響、残響音で言葉がはっきりしない